

県立大図書館に「文庫」

故岡村氏 報道写真家

ベトナム戦争報道などでフォトジャーナリストの先駆者として活躍した国際報道写真家、岡村昭彦さん（一九二九—一九八五年）の蔵書を所蔵している県立大が、同大付属図書館の一角に「岡村文庫」として二万六千冊の蔵書を配架したスペースを整備し、二十三日、完成式を行った。

同文庫では、書物が歴史や社会科学、言語など分野に分類されているほか、ベトナム戦争報道で一九六五年に米国海外記者クラブ最優秀報道写真年度賞を受け、その名を世界に広めた「LIFE」の表紙も展示している。肉声テープなど

き典 招き者係 式成 関完

も今後、徐々に公開していく予定。
岡村さんは徹底的に調べ上げ、問題意識や世界認識を押さえた上で撮影活動に

入る」という報道姿勢を貫き、浜松市舞阪町を拠点に晩年まで書物を収集していた。蔵書は死去した四年後に同大に寄贈され、「岡村

蔵書1万6000冊集約

文庫」と呼ばれたが、これまでは館内に点在していた。同館は「蔵書を集中させたことで岡村さんの視点の源を分かりやすく示すことができる」と話している。

完成式典では岡村さんの弟の春彦さんが「本は兄の生きた証し。ぜひ多くの人に見てほしい」と願った。

晴彦さんや交流のあった詩人、菅尾淳さん、前坂俊之、県立大教授を交えたパネルディスカッションを行い、スペースの見学も行った。



（左）岡村さんの思い出を語る弟の春彦さん
（左）静岡岡市駿河区谷田の県立大